

自由に、悠然と、飛翔するように——
世界的チェロ奏者が
奏でる圧巻のドヴォルザーク

～オール・ドヴォルザーク・プログラム～
—All Dvořák Program—

ドヴォルザーク
Antonín Dvořák (1841-1904)

交響曲第8番 ト長調 op.88
Symphony No. 8 in G major op.88

チェロ協奏曲 ロ短調 op.104
Cello Concerto in B minor op.104

チェロ: ミツシャ・マイスキー
Mischa MAISKY, Cello

Kyoto Symphony Orchestra presents Super Concert

京響スーパーコンサート

ミツシャ・マイスキー

Mischa Maisky KSO

京都市交響楽団

京都市交響楽団 (管弦楽)
Kyoto Symphony Orchestra

指揮: 広上 淳一

(京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

Junichi HIROKAMI, Conductor

(12th Chief Conductor & Music Advisor of Kyoto Symphony Orchestra)

© 伊藤菜々子

2018年 9月5日 (水) 19:00開演 (18:15開場)
京都コンサートホール 大ホール (地下鉄烏丸線「北山」駅下車
①③番出口南へ徒歩約5分)

Wednesday, 5 September 2018 at 7 p.m. Kyoto Concert Hall Main Hall

チケット 料 金	一般	S 9,000円	A 7,000円	B 5,000円	C 3,000円
	*会員	S 8,500円	A 6,500円	B 4,500円	C 2,500円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引: 各席 500円割引
(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書等をご提示ください)

●*会員先行: 4月7日(土) 10:00～ ●一般発売: 4月14日(土) 10:00～

*会員: 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。

[主催] 京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) / 京都市

チケットのお問い合わせ・お申し込み

京都コンサートホール

☎075-711-3231 (10:00～17:00/第1・第3月曜日休)
(※休日の場合はその翌平日)

オンラインチケット購入

京都コンサートホール

検索

<https://www.kyotoconcerthall.org>

ロームシアター京都 TEL.075-746-3201

(10:00～19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード:102-808)

ローソンチケット TEL.0570-000-407(Lコード:53684)

※会員先行期間に売り切れとなった場合、一般発売にお席をご用意できない可能性もございます。

※都合により内容等変更になる場合がございます。なお、それによる払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。

※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットを

お持ちのお客様にご本人様確認を行い、ご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

(託児室あり/1歳以上/定員有/有料1,000円/8月29日(水)までに要予約075-711-2980)



チェロ界の巨匠マイスキー、広上&京響と切り開く新たな世界観

我々はなぜ、ミッシャ・マイスキーにこんなにも心惹かれるのだろうか。彼がいったん弓を引くと、雄大なドラマが目の前に広がっていくようだ。その音色には奥行きがあり、陰影に富み、天高く飛翔していく。1720年製モンタニアーナのエンドピンからは、聴いている者の身体にまで、深い振動が伝わってくる。そしてこれは特筆すべきことであるが、彼の音楽はただたんに美しいだけではない。時に非情な音を、また時に心がえぐられるような音をも繰り出してくる。その人間臭さがまた、我々の心の襞を刺激するのだ。音と音の間に、苦悩を乗り越え自由を手に入れた彼の人生が垣間見える。

世界トップアーティストと京響の「夢の共演」を叶える今回の「京響スーパーコンサート」では、そんなマイスキーと広上淳一&京響が、ドヴォルザークの傑作《チェロ協奏曲》を披露する。マイスキーのモットーは「チェロで語り、歌い、心を吐露し」、「作曲家の魂に近づくこと」。そこへ、広上と京響のパッションが加われば——。これまでにない、新たな「ドヴォルザーク」と出逢えるに違いない。



ミッシャ・マイスキー (チェロ)

Mischa MAISKY, Cello

ラトヴィア共和国生まれ。ロシアで学び、のちにイスラエルに移住。以後、ロンドン、パリ、ベルリン、ウィーン、ニューヨーク、東京をはじめ世界の主要コンサートホールで演奏活動を展開、熱狂的な支持を受け続けている。これまでにバーンスタイン、デュトワ、ジュリーニ、マゼール、メータ、ムーティ、アシュケナージ、バレンボイムといった名指揮者たち、さらにアルゲリッチ、キーシン、ランラン、P.ゼルキン、クレームル、バシュメット、レービン、ヴェンゲーロフほか世界のトップ・アーティストらと共演している。

マイスキーの録音は世界各地で高い評価を得ており、日本のレコード・アカデミー賞を5回、エコー・ドイツ・シャルブラッテン賞を3回、パリのディスク・グランプリ賞など受賞、グラミー賞にもノミネートされている。

マイスキーは、自らを「世界人」と位置づける。「イタリア製のチェロにオーストリアとドイツ製の弦を張り、フランスとドイツの弓で弾いています。娘はフランスで生まれ、長男はベルギーで、次男はイタリアで、三男はスイスで生まれ、そして今では六人の子供に恵まれています。私はアメリカの車を運転し、スイスの時計をはめて、インドのネックレスをしています。そして人々がクラシック音楽を評価し、楽しんでくれるところではどこでも、そこで家にいるようにくつろぐことができます。」

使用楽器は、1973年にニューヨークのカーネギーホールにデビューした後に篤志家から贈られた1720年製のモンタニアーナ。



広上 淳一 (指揮)

Junichi HIROKAMI, Conductor

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学び、1984年26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝し、1986年以降、世界中のメジャーなオーケストラへ客演を展開。1991～95年ノールショピング響、1998～00年リンブルク

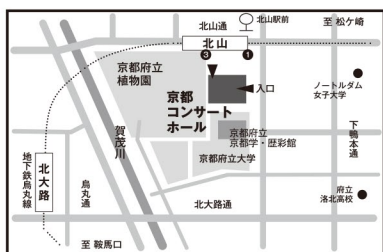
響の各首席指揮者、1997～01年ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、1991～2000年日本フィル正指揮者を歴任する傍ら、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、イスラエル・フィル、ウィーン響等に定期的に客演。2006～08年米国コロンバス交響楽団音楽監督。オペラの分野でも国内外で活躍し、シドニー歌劇場、新国立劇場等へ客演。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。2017年4月より札幌交響楽団友情客演指揮者。



京都市交響楽団 (管弦楽)

Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



京都コンサートホール

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
(地下鉄丸太線「北山」駅下車①③番出口南へ徒歩約5分)

<https://www.kyotoconcerthall.org>



Facebook

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall



Twitter

京都コンサートホール @KCH_Kyoto

■公式ブログ <http://blog.kyotoconcerthall.org>